

1. 原稿の構成

1) 項目表

項目	原稿の区分				
	総説、原著、短報・速報	実践活動報告	教育改善評価	資料	
投稿者氏名					
所属機関名					
連絡責任者		○			
原稿等の枚数					
原稿の区分					
紙					
タイトル					
ランニングタイトル	△	△	△	△	△
和文抄録	○	○	○	○	○
キーワード	○	○	○	○	○
図					
表	○	○	○	○	△
I. 諸言／目的(はじめに)	○	○	○	○	△
II. 方法(対象と方法／事業・活動内容)	○	○	○	○	△
本					
III. 結果／事業・活動成果	○	○	○	○	△
IV. 考察／今後の課題	○	○	○	○	△
文					
V. 結論	○	○	○	○	△
謝辞	△	△	△	△	△
利益相反	○	○	○	○	○
文献	○	○	○	○	△

2) 表紙(全原稿区分共通)

原稿の使用言語(日本語、英語)を問わず下記項目すべて和文と英文を併記すること。

項目	内 容
投稿者氏名	全員の氏名
所属機関名	全員の所属機関及び部署名(右上付き文字(1, 2...)等を用い、投稿者名と対応させる)を記載する。
連絡責任者	本誌編集委員会事務局とのやり取りをするために必要な連絡責任者の氏名、郵便番号、住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレスを記載
原稿等の枚数	原稿本文、図、表、写真それぞれの枚数。 (刷り上がり8頁以内(短報・速報は5頁以内)を原則とする。 なお、1頁は2,200字相当。図、表、写真は平均して各1枚が200字相当)
原稿の区分	総説(Review Articles)、原著論文(Original Articles)、短報・速報(Short/rapid Communication)、実践活動報告(Practical Solutions)、教育改善評価(Evaluation of Curriculum)、資料(Information)のいずれか
タイトル	短く、内容を適切に表しているもの。
ランニングタイトル	本タイトルが25字を超える場合は、25字以内のランニングタイトルをつける。
キーワード	3~5個。本文を適切に表しているもの。MeSHタームに準ずることが望ましい。

### 3) 抄録

原稿の使用言語（日本語、英語）を問わず、和文抄録、英文抄録の両方を提出すること。（ただし、日本語原稿の場合の英文抄録原稿は論文採択後に提出すればよい）このとき、抄録の意味が相互に一致していること。いずれも構造化抄録(Structured abstract)を原則とするが、原稿の内容により構造化が難しい場合はこの限りではない。  
<和文抄録>

〔目的〕〔方法〕〔結果〕〔結論〕に分けて、見出し含めて 600 字以内

<英文抄録>

[Objective] [Methods] [Results] [Conclusions]に分けて見出し含めて 300words 以内

## 2. 原稿の作成フォーマット

- ① 本文は Word 文書を原則とし、和文原稿および和文抄録は A4 版用紙（縦）に横書きで 40 字×25 行、英文原稿および英文抄録はダブルスペース、フォントサイズは和文原稿では明朝体 10.5 pt, 英文原稿 Times New Roman 12pt とする。なお、表や図のファイルは Word、Excel または PowerPoint の使用を推奨する。
- ② 表紙から文献までには、通し頁(原稿下部の中央)及び行番号（全頁での通し番号）をすべての行につける。
- ③ 数字には算用数字を用い、数字や英字は半角とする。
- ④ 図、表、写真を含める場合は、1 頁に 1 枚ずつ作成して本文原稿の後に入れる。原則としてそのまま掲載することが可能な明瞭なものとし、カラーも可能とする。表題については、図と写真では下部、表では上部に掲載する。表において縦罫線は使わない。〔図 1〕〔表 1〕〔写真 1〕等の通し番号をつけ、本文の右欄外にそれぞれの挿入位置を指定する。英文で表記をする場合は [Figure 1]、[Table 1] とし、[Fig.1] などと省略はしない。補足的な説明事項を脚注におく際には、次の記号を順番に用いる。†, ‡, §, ||, ¶, ††, ‡‡
- ⑤ ファイル名は、初回は“本文（投稿者氏名）.docx”，“表（投稿者氏名）.xlsx”等とし、査読の経過途中では、“本文（受付番号）（投稿者氏名）.docx”とする。

## 3. 原稿作成上の注意

- ① 文章はひらがな、新かなづかいとし、漢字は原則として常用漢字とする。
- ② 実験に用いる物質については、商品名を用いず、必ず化学物質名を用いる。
- ③ 数量は算用数字を用い、桁数の多い数は 3 桁ごとにカンマで区切る。ただし、ページ数、通算番号（文献、特許等）の数字にはカンマを入れない。主な単位は次のように表す。km, m, cm, mm,  $\mu$ m, nm, kg, g, mg,  $\mu$ g, kL, L, mL,  $\mu$ L, kcal とする。
- ④ 論文中、繰り返し使われる語句については、略語を用いてかまわないが、初出の時には省略しない。

- ⑤ 図や表を引用・転載した場合には、投稿前に著作権者の承諾を得て、引用文献番号に加えて、図や表の下に出典を明示する。
- ⑥ 外国語名称はカタカナを用いることを原則とするが、固有名詞や原語の表記が広く使われ、理解しやすい場合には、原語を使用する。
- ⑦ 本文中の年は西暦で記載する。文献に関しては本【執筆要領】「4. 文献のリスト ①～④」の項を参照のこと。
- ⑧ 本文中に、章・節・項等を設ける場合は、以下の符号を使用する。
  - I. II. III.
  - 1. 2. 3.
  - 1) 2) 3)
  - (1) (2) (3)
- ⑨ 文献は論文に直接関係のあるものにとどめ、引用順とし本文の最後の一括して記載する。本文中の引用文献番号は右上付とする。連続する2つの文献を引用する場合、半角カンマと半角スペースで文献番号を区切る(例, 1, 2)…。連続しない3つ以上の文献を引用する場合、半角カンマと半角スペースで文献番号を区切る(例, 1, 3, 5, 7, 9)。連続する3つ以上の文献を引用する場合、最初の文献番号と最後の文献番号を「～」でつなぐ(例, 2～5)。また、本文中に著者名で引用する場合、著者が2名以下の場合には姓を記し(例:橋本、佐藤<sup>1)</sup>)、3名以上の場合には最初の著者の姓を記し「ら」をつける(例:千葉ら<sup>1)</sup>)。文献は、一般に検索可能な公刊文献に限り、入手困難、検索不可能な文献は避ける(文献として引用できないものの例:社内資料, 未発表論文, 公刊されない学位論文, カタログ等)。
- ⑩ 統計解析に関する表記方法等については、「5. 統計解析」の項を参照のこと。
- ⑪ 必ず、「方法」の項に倫理的配慮や研究対象者への配慮をどのように行ったか記載すること。倫理審査委員会の承認を得て実施した研究は、承認した倫理審査委員会の名称および承認年月日(ある場合は承認番号)を本文中(方法)に記載する。
- ⑫ 当該研究遂行や論文作成に際して、企業・団体等から研究助成を受けた場合は、本文中の謝辞の項目にその旨を記載しなければならない。
- ⑬ 投稿にあたってすべての著者は投稿時に、「青森保健医療福祉研究 投稿時 COI 自己申告書(【様式 2】利益相反開示書)」を提出しなければならない。申告書の内容については、本文中の利益相反の項目にも具体的に記載する。利益相反しない場合でも、「利益相反に該当する事項はない。」などの文言を記載し、自己申告書を提出する。

#### 4. 文献のリスト

引用文献の記載は、下記のように Index Medicus に従い、欧文雑誌名は略記し、イタリック表記とする。和文雑誌名は略記しない。

①【雑誌】著者名（和文はフルネームで、欧文は姓のみをフルスペル、その他はイニシャルのみで、筆頭著者から3名まで記し、それ以上の場合は、「, 他」「, et al.」を用いて略記する）：論文タイトル. 雑誌名. 発行年; 巻数: 初頁-終頁.

(和) 千葉 敦子, 山本 春江, 森永 八江, 他: 職域における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果 教室参加者の学習内容の伝達と非参加者への影響. 日本公衆衛生学雑誌. 2011; 58(2): 102-110.

(洋) Gilmour S., Liao Y., Bilano V., et al.: Burden of disease in Japan: using national and subnational data to inform local health policy. *J Prev Med Public Health*. 2014; 47(3):136-43.

②【オンライン版公開論文】※巻(号)の代わりに Digital Object Identifier (DOI) 記載 Zha L, Sobue T, Kitamura T et al.: Changes in Smoking status and mortality from all causes and lung cancer: A longitudinal analysis of a population-based study in Japan. *J Epidemiol*. 2018 Jul 21. doi: 10.2188/jea.JE20170112. [Epub ahead of print]

③【単行本(報告書も含む)】 著者名: 論文タイトル, 書名, (編者), pp. 初頁-終頁 (発行年) 出版社, 所在地

(和) 日本高血圧学会: 高血圧治療ガイドライン 2014, (日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会編), pp. 7-14 (2014) ライフサイエンス出版, 東京

(洋) WHO: The World Health Report 2013: Research for universal health coverage (2013) WHO, Geneva

④【翻訳本】 原典の書誌情報(=翻訳の出版年、訳者名「訳書のタイトル」出版社名.) Edward Jr. JW., Macdonald IA., Zeisel SH. (Present Knowledge in Nutrition. 10<sup>th</sup> Edition. 2012. Wiley-Blackwell (=2014. 木村修一、古野純典監訳. 専門領域の最新情報: 最新栄養学(第10版). 建帛社.)

⑤【政府刊行物】編集機関名. タイトル. (発行年) 発行元.  
厚生労働省. 厚生労働白書(2000). ぎょうせい

⑥【電子メディア情報】 著者名(公表年または最新の更新年)「当該情報のタイトル」  
(URL, アクセス年月日)  
厚生労働省(2016)「地域包括ケアシステム」  
([https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/c\\_hiiki-houkatsu/](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/c_hiiki-houkatsu/), 2018年7月24日)

## 5. 統計解析

### 1) 統計解析に関する留意点

**確認事項** (ほとんどの場合の原則であるが、例外もあり得る) ※【投稿原稿チェックリスト】で確認する。

① 正規分布及び非正規分布のデータが区別され、それぞれに適切な要約統計量の記載、推定・検定方法を用いる。

例1) 正規分布：平均と標準偏差、非正規分布：中央値と四分位範囲(25%、75%点)で示す。

例2) 正規分布：パラメトリックな方法、非正規分布：ノンパラメトリックな方法を用いる。

- ② 対応のあるデータの分析では、対応のあるデータのための分析方法を用いる。  
例) 対応のある t 検定、Wilcoxon 符号付き順位和検定、McNemar 検定、条件付きロジスティック回帰
- ③ 割合(%)を示す時は、分母となる総人数が分かるように記述する。  
%を対比させる際、差である場合には「ポイント」又は「パーセントポイント」と表す。
- ④ 検定の有意水準を示し、両側検定か片側検定かを明記する。注) ほとんどの場合は両側検定である。
- ⑤ p値は原則としてそのままの値を示す。0.01以上の場合には有効数字を2桁(例:0.21, 0.054), 0.01未満の場合には有効数字を1桁(例:0.009), 0.001未満の場合は<0.001と記載する。  
注) 図表の簡略化のために記号等で有意性を表すこともある。
- ⑥ 分析結果の数値は、必要十分な桁数で示す。  
注) 目安として、平均値・標準偏差・標準誤差の小数部は、元のデータより1桁多く、割合(%)では整数または小数第1位まで、オッズ比・相対危険は小数第2位まで。
- ⑦ 回帰係数、オッズ比等は、点推定値だけでなく、標準誤差や95%信頼区間またはp値も示す。

## 2) 論文における記載方法：

- ・使用した全ての統計学的手法について本文中の「方法」で詳細に説明し、表の脚注や図の説明に検定法・統計モデルの名称等を簡潔に記述する。
- ・市販のコンピューターソフトを用いて処理した場合は、使用したソフトウェア名(バージョン、開発元)を本文中に記載する(例:IBM SPSS Statistics 20(日本アイ・ビー・エム株式会社))。
- ・測定の精度以上の桁数の表示や、意味のない桁数の表示がないように留意する。

## 6. 原稿以外に必要な書類

下記①～③の書式を、青森県立保健大学ホームページからダウンロードすること。

- ① 著作権委譲承諾書 【様式1】
- ② 利益相反開示書 【様式2】
- ③ 投稿原稿チェックリスト

原稿一式および上記①～③を添付し、「原稿提出状」をメール本文に記載の上、下記【原稿投稿先】宛てに送付すること。

<「原稿提出状」の内容（メール本文）>

- ・ 投稿時原稿タイトル
- ・ 全投稿者の氏名
- ・ 連絡責任者の氏名、所属先、E-mail
- ・ 原稿の区分（総説、原著、短報・速報、実践活動報告、教育改善評価、資料 のいずれか）

**【原稿投稿先】**

青森県立保健大学内

「青森保健医療福祉研究」編集委員会

E-mail: [ajhw\\_editor@auhw.ac.jp](mailto:ajhw_editor@auhw.ac.jp)（編集委員会事務局専用アドレス）